

(平成29年6月作成)

事務事業評価シート

(H.29)No.	1465	(H.28)No.	1465
-----------	------	-----------	------

事務事業名	幼児教育推進体制構築事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	中森 早苗	

会計区分	事業コード	462415
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	教育振興費	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	幼児教育推進体制構築事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進
	施策	1	学校教育
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
保育所(園)、幼稚園、小中学校の連携をより強化するとともに、保育士・幼稚園教職員の資質・能力の向上、名張版の教育課程の策定等により、小1プロブレム等就学時の課題を解決し、小学校教育へ円滑な接続を行います。
事業内容
小学校と幼稚園・保育所を巡回する幼児教育アドバイザーを配置し、相互の職員への指導を行うとともに、名張版「スタートカリキュラム」を策定し、指導内容・指導方法を明確にするとともに、名張市のめざす小中一貫教育を推し進め、就学前1年の幼児をプレ小学生とし、学校体制を前期課程5年、後期課程5年で行う基礎をつくります。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

H.28年度(事業量・取組実績)		H.29年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	幼児教育アドバイザー2名を、保育幼稚園室及び学校教育室に配置した。公立幼稚園2園には、園内リーダーを位置付けた。幼児教育アドバイザーは、就学先小学校を訪問し、1～2年生の授業の状況を確認し、担任教師に幼・小のスムーズな接続に向けての指導・助言を行った。また、市内の幼稚園及び保育所(園)を巡回し、教育内容や指導方法、教育環境の改善等について指導・助言を行った。	就学先小学校を月に1～2回訪問し、授業の状況を確認し、保・幼・小のスムーズな接続に向けた指導・助言を行うとともに、名張版「スタートカリキュラム」の改善見直しをはかる。同時に幼稚園・保育所教育施設を巡回し、教育内容や指導方法、環境の改善等について指導助言を行う。
	小学校と幼稚園・保育所を巡回する幼児教育アドバイザーを配置し、相互の職員への指導を行うとともに、名張版「スタートカリキュラム」を策定し、指導内容・指導方法を明確にするとともに、名張市のめざす小中一貫教育を推し進め、就学前1年の幼児をプレ小学生とし、学校体制を前期課程5年、後期課程5年で行う基礎をつくります。	
	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
幼児教育アドバイザー4名の体制で、就学先小学校を月1～2回、授業状況を確認し、名張版「スタートカリキュラム」の確立を目指す。あわせて幼稚園・保育所(園)教育施設を巡回し、園内リーダーとの連携により、教育内容や指導方法、環境の改善等について指導助言を行う。	小学校と幼稚園・保育所(園)が連携を深めながら名張版「スタートカリキュラム」に基づく実践を進め、就学前からの連続性のある一貫した教育の実現を図る。	小学校と幼稚園・保育所(園)が連携を深めながら名張版「スタートカリキュラム」に基づく実践を進め、就学前からの連続性のある一貫した教育の実現を図る。

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		2,301千円		3,234千円	6,477千円	0千円	0千円
内 国・県支出金		2,300		3,234	6,477	0	0
内 地方債							
内 その他()							
内 一般財源	0	1	0	0	0	0	0
人工数		0.06人		0.17人	0.17人	0.06人	0.06人
臨時職員等		0.01人		0.02人	0.02人		
②概算人件費	0千円	467千円	0千円	1,309千円	1,309千円	450千円	450千円
①+②総事業費	0千円	2,768千円	0千円	4,543千円	7,786千円	450千円	450千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度(取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
名張市では、小中一貫教育(4-5制)の推進とともに、就学前教育と学校教育とのスムーズな接続について研究し、5-5制の教育課程の検討を進める中、本事業について申請したところ、受託することができ、幼児教育アドバイザー2名が、市内幼稚園、保育所(園)、子ども園及び小学校を巡回し、就学前教育と義務教育の接続期のカリキュラム「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム」(試行版)を作成することができました。このカリキュラムに基づく実践により、連続性のある一貫した教育が実現し、子どもたちに夢を実現する力・社会を拓く力が育まれるものと思われます。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】	継続(現行)
継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
国の3年間の本事業を受託し、幼児教育アドバイザーによる幼・小のスムーズな接続に向けた現状把握とスタートカリキュラム(教育課程)の作成により、5-5制の教育体制の構築をめざします。「しっかりつなぐ育ちのバトンカリキュラム」(試行版)に基づく実践や研修を重ねながら、カリキュラムの完成版を作成し、就学前教育と学校教育とのスムーズな接続をめざすため、関係者がさらに連携を深めていくことが必要です。	第二次名張市子ども教育ビジョン ぱりっすくすく計画(第3次)